

## 「気づきと支え」

障害者自立支援法が障害者総合支援法へと変わった。こうした法律の改正は、私たちの生活に大きな変化をもたらしている。

しかし、法律が変わっても「我が子の成長を願う」親の思いはいつの時代でも変わらない。

卒業生Aさんは、調理補助の仕事を行っている。仕事も大変真面目で皿洗いも板に付いてきた。昼食時には職場の仲間と一緒に食事を楽しみ、勧められるままに多くの食べ物を頂いていた。実はそれがストレスの原因であった。

食べることが好きであったAさんは、断り切れずストレスを感じる日々。お母様はその異変に気づき話しかける。その後学校へ電話があり、進路指導部が会社へ様子伺いに行き、早期に問題を解決できた。これは、我が子の異変にいち早く気づき解決へと繋がった事例である。

「ストレス」という大敵。障害のあるなしに拘わらず誰でも感じるものである。好きなことをしていれば発散できていると思いき、近くにいても気づけないことの方が多いかもしれない。「早期発見、早期治療」は医療の世界だけではない。

家庭でできる最大のサポートは、成長していく我が子をどのように受け止め、支え、そしてシグナルにいち早く気づくかということなのではないだろうか。